



猫対策に当たっての役割分担の一例

あくまでも、地域主体の取り組みですが、センターや関係市町等行政機関および動物愛護推進員、ボランティア、民間の団体(以下団体等)が連携して取り組むことにより、一層の効果が期待できます。以下に、関係者の役割について一例をお示ししますので、参考にしてください。なお、地域の実情に応じて、この例によらない場合もあるでしょう。

	取り組み内容	地域	センター	市町	団体等	獣医師会
I . 事前準備	・ 地域の中で協議し、地域の取り組みとしてこれからの猫対策を実施することについて合意を形成します。	◎	○	○	△	
	・ 本対策は、猫を邪魔者として排除することが目的ではなく、不幸な猫の数を減らし、猫と人とが共生できるシステムを構築することが目的であることについて、地域の理解を得ます。	◎	○	○	△	
	・ 猫が嫌いな人にも取り組みへの参加を呼びかけます。	◎	○	○	△	
	・ 取り組みを始める前に、広報します。	◎	○	○		
II . 地域の調査	・ 猫が多い原因を調べます。	◎	○	○		
	・ 経験豊かな団体等専門家を紹介します。		◎			
	・ 原因が判明すれば、より詳細な地域の実態を把握するため、地域に出向き、アンケート調査票等を作成します。	○	◎	○	○	
	・ アンケート調査票等を配布、集計し、今後の方針、手法、目標等を検討します。	◎	○	○	○	

	取り組み内容	地域	センター	市町	団体等	獣医師会
Ⅲ. 飼い猫の管理	・ 飼い猫について、屋内飼養、不妊・去勢、個体識別等をすすめます。そのための啓発資材を作成、配布します。	○	◎	○		
Ⅳ. 地域で管理する猫の不妊・去勢	・ まず飼い猫に個体識別をし、地域で管理する猫との区別をします。	◎	○	○		
	・ 不妊・去勢手術しようとする猫に、飼い主がいないことを確認します。	◎				
	・ 地域で協議し、不妊・去勢手術費用の捻出方法を検討します。	◎				
	・ 地域で管理する猫の不妊・去勢手術のために、保護用の機材の貸し出しをします。		◎		◎	
	・ 地域で管理する猫を一時的に保護します。	◎			○	
	・ 保護した猫の手術を実施します。	◎	△			◎
	・ 手術済みの猫を地域に戻します。	◎				
Ⅴ. 地域で飼養する猫の管理	・ 給餌器、給水器を準備し、エサ場、水場の選定エサ、水をやる人の選定、給餌器まわりの清掃管理等する人を決めます。	◎			○	
	・ トイレおよびトイレ砂を準備し、設置場所の選定、砂を交換する人、トイレ周りの清掃管理等する人を決めます。	◎			○	
	・ 爪研ぎ器を準備し、爪研ぎ場の選定、爪研ぎ場周りの清掃管理等する人を決めます。	◎			○	
	・ 家を造ります。 材料を調達し、造った家の設置場所の選定、家周りの清掃管理等する人を決めます。	◎			○	

	取り組み内容	地域	センター	市町	団体等	獣医師会
V. 地域で飼養する猫の管理	・ 取り組みの進捗状況の確認、問題点等の解決の場として協議の場を確保します。	◎	○	○		
	・ 地域の環境美化対策として、ゴミ集積場付近の清掃をします。	◎			○	
	・ 猫の新しい飼い主を捜します。	◎	○		◎	

◎：主体的に取り組みます。

○：支援します。

△：場合によっては支援します。

